絵巻からみる神戸の歴史

2025 年 7 月 5 日（土）～ 8 月 31 日（日）

紙や絹をつないで絵や、それを説明する詞書（ことばがき）を描く「絵巻」。日本では奈良時代に先駆けとなる作品があり、平安・鎌倉時代に数々の傑作が生みだされ、以後も作られました。「信貴山縁起絵巻」（朝護孫子寺蔵）「源氏物語絵巻」（徳川美術館など蔵）「鳥獣人物戯画」（高山寺蔵）「伴大納言絵詞」（出光美術館蔵）の日本四大絵巻とも称される作品が著名です。その他にも、経典の絵解き、社寺の縁起、高僧の伝記、説話や作り物語、パノラマで表された情景など、長大な画面を生かした作例が多く知られます。本展示では、当館が所蔵する絵巻のうち、神戸の歴史を伝えるものをご紹介します。

小敦盛絵巻（部分）

［出品資料］

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	作者	材質技法	員数	時代
	一遍上人絵伝断簡（新 1989-079）		紙本著色	1 幅	永徳元年（1381）以前
	小敦盛絵巻（新 1988-079）		紙本著色	1 巻	安土桃山時代、16 世紀後期
	一ノ谷合戦絵巻（新 2022-006）		紙本著色	1 巻	江戸時代後期写、18 世紀後期～19 世紀中期
	湊川小学校沿革絵巻		紙本著色	1 巻（3 巻のうち）	大正 2 年（1913）